

挨拶

(かのえね) 本紙代表石丸志信

昨年中は格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げま

十二支が一巡して で改元後初めての子年、西暦で 回する機会がありました。 地元 新しい生命の萌芽を見る如く

方の案内で水無神社の御知 一成から令和へと御代替り 北は宮川から神通川となって富山湾に流れ込み、宮いずる水も、ここで南北に分かれて水脈を結ん 川に合流し し伊勢湾に注ぐのです。 兄ました。山に降り注ぐ雨水も伸体と言われる位山(くらいや わりした昨年、歴史の大きな節 清き水が分水嶺を越えて四方

宮

司

緋

佐

社

横浜市港北区師岡町一一三七

₹ 210 | 0004

電話 〇四四(二二二)四五五四神奈川県川崎市川崎区宮本町七―七

淡路國一

を迎えたのを感じました。 流れ出していく気配です か始まる年として、真実の光に照らされた平和な世界が 世界に立ち現れることを願っています。 明けて本年、新しい生命の躍

名誉宮司

加

藤

宮

司

日

春

文

神田神社

電話 〇七八(三二一)三八五一神戸市中央区下山手通一丁目二番一号

宮

司

鳥居信史

∓ 101 | 0021

電話 〇三(三二五四)〇七五三千代田区外神田二―一六―二

生田神社

₹ 656 | 1521

FAX○七九九(八○)五○二一電話 ○七九九(八○)五○○一兵庫県淡路市多賀七四○番地

弉 諾

神

宮

なる。」(イザヤ書48:18)。 口の憂き目に遭いました。 難にあえぐとき、 希望のメッセージを伝えました。 彼ら あなたの平和は大河のように、恵みは海の波のように 天地の創り主から託された使命を軽んじたため、国家 を失った民族は、 悔い改めて神に立ち ひ民の中で、人々の心を神に向 ら返るよう導いた預言者がいた 国の地で自由を奪われた生活を 白の預言者はイスラエル民族が 精神的支柱である神殿と国家

るべき民族の姿を示する。 イスラエル民族は、そのことばの中に神の経綸の姿を示し、その設計図に従って生きるよう導 時を経て解放の時を迎え、故郷に帰還するこ 単なる未来の予 ⁻知をしたのではなく、本来あ

なる神に、大宇宙の根本に立ち返るとき、大いなる存在の て学ぶものがあり 来るべき世に訪れる平和は だしたように、 その出来事は一民族の経験にとどまらず、歴史の教訓と 「平和のビジョン」が私たちの胸に響いてきます。 様々な困難 彼らが苦難のただ中で希望を見 忡性を取り戻し、 天地の創り主 **難に直面する今日の私たちにも** 人間的な努力だけで生み出

守る不動尊

住

隆

督

常陸國

御岩 神社

川崎市高津区

齌

主

神

義

ケイタイ ○九○(三一○八)八八四一東京都豊島区要町三―四三―四

炷森三島神社

宮

司

神

道

明

宮

司

田

紀

彦

₹ 168 | 8570

東京都杉並区大宮

大宮八幡宮

されるものではないことを実感します。人智を超えた神と ところで起こる出来事も瞬時に伝わる時代、地球の裏側に た。彼の国の人々の不幸は私の悲しみであり、私の喜びは を世界の人々が注視していたのに驚きました。遠く離れた **匹こる変革によって、憎しみや怨みを抱くことの苦しさを** る被災者を心配し支援の手を差し伸べる世界になりまし 関係の回復がなされてこそ始まる平和があります。心に まれにみる大型台風が日本列島を襲った昨年、その動向 一神の愛は遍く地を潤すり 人と人との絆も新たにされるのです。雨の如く降りゆるし愛することで味わう喜びへと人々を駆り立て くうになるのです。

〒182―84 東京都新宿区市谷八幡町一五電 話〇三(三二六〇)一八六八社務所 FAX〇三(三二六〇)五三六八 URL http://www.ichigayahachiman.@sweet.ocn.ne.jp

宮

司

謙

治

宮

司

甲田吉孝

FAX ○五四四(二六)三七六二 の五四四(二六)三七六二 第岡県富士宮市宮町 — —

本 宮 浅間大社

江戸城西之鎮護太田道灌公御勧請

市谷亀岡八幡宮

净土真宗 西福寺

平和大使

花園神社

住

職浦

田

蘭子

宮

司片

裕

司

〒81—273 熊本県熊本市沖新町二三八五

電話 〇三 (三二〇九) 五二六五 電話 〇三 (三二〇九) 五二六五

塊にむけて人々を駆り立てる使命が、宗教者には託されて 希望の燈火となる「平和のビジョン」を掲げ、その実国では到底解決し得ない多くの問題に直面する世界

晴れ渡った東京 ってやみません。 しします。今年の夏、東京から の到来を告げるファンファーレ の空に響き渡ったオリンピック

こご活躍を祈念し、新年の挨拶に代えさせ

副総長 総長 の年を迎え、謹んで新年のお

伊勢山皇大神宮

宮司代務者 阿久津裕司

〒220─031 神奈川県横浜市西区宮崎町六四

宮

司

石

 \prod

正

(順不同)

書・中田蘭石氏 (高野山書道会会長)

江 宮 島 神

司 相

〒251―036 神奈川県藤沢市江の島二―三 原 別

社

良良 信彰

福 宮 司 恵 宮 司 志 (洗足池八幡宮)

師岡熊野神社

彦

川中司 通恆尚 泰清武

神社本庁

統理



